

---

## 編集後記

昨年度、本研究会の研究会誌は10回目の発刊を迎えました。

創刊からの10年間、研究会を精力的に推し進めてこられました前世話人代表の松本和久先生より、次の10年に向けての「襁」を受け取らせていただきました。その襁の重みを実感しながら、第11巻の発刊準備を進めて参りました。前巻の編集後記の中で、“私への「change」が適切な「change」と表現されておりましたが、後に「適切」であったと皆様にとって頂けるよう、精一杯その責任を全うする所存です。

さて、近年人工知能（AI）に関する話題が取り上げられ、人間が行っていることが機械にとって代わられる時代になると言われています。我々人間にしかできないことは何か？ということをしっかり自覚しておく必要があります。

その一つが「creativity」（創造性）であると言われています。「creativity」とは、正しい知識を豊富に持ち合わせながら、新しい考え方や物などを生み出し、管理、運営していくことであり、医療や介護に携わる我々にとって重要なキーワードです。対象者の今後の人生に影響を与えかねない我々の発想や物事に対する考え方は、まさに「creativity」であるべきだと思います。本巻がその一助となれば幸いです。

平成29年12月1日

京都在宅リハビリテーション研究会 世話人代表 木村篤史

---

京都在宅リハビリテーション研究会誌

第11巻

平成29年12月24日 発行

編集者

京都在宅リハビリテーション研究会事務局

(木村篤史, 永山智貴, 小西倫太郎, 神田佳明, 森川重幸, 堀田直樹,  
浅野翔平, 村富渚, 中島隆輔, 大前桂子)

発行者

木村篤史

〒629-0392 京都府南丹市日吉町

明治国際医療大学附属病院 総合リハビリテーションセンター

Tel 0771(72)1221